

CONTENTS

● 一般社団法人音楽電子事業協会第1回通常総会報告	1
● 会長挨拶・組織図・役員名簿・MIDI規格30周年ロゴについて	2~3
● 平成24年度事業計画	4~5
● IEC国際会議報告	6
● 平成24年度MIDI検定試験について/新宿電子楽器祭のお知らせ/CDC社員総会報告	7
● AMEI会員名簿・MIDI検定1級試験実施のお知らせ・第1回通常総会議事録の開示について	8

一般社団法人音楽電子事業協会 第1回通常総会報告



平成24年5月10日、平成24年度第1回理事会に引き続き、一般社団法人音楽電子事業協会第1回通常総会が午後4時から東京飯田橋のホテルエンドモントにて開催されました。総会に先立ち、岡部比呂男会長より2年間に渡り継続検討してきた一般社団法人への移行完了の報告と、東日本大震災と福島第一原発事故から1年まだ厳しい状況のもと、音楽が復興に向けて役に立てる場面はまだ数多くあり、今後も事業活動を通して社会貢献へつなげてまいりたいとの表明がありました。

続いて、事務局から定足数(正会員47社に対し、出席23名、委任状21通)が発表され、総会の成立が報告されました。

定款に基づき岡部会長が議長となり、議事録署名人2名(カシオ計算機株式会社 安藤仁様、クリムゾンテクノロジー株式会社 飛河和生様)が選任され、議案審議に移りました。

1号議案「平成23年度事業報告承認の件」、2号議案「平成23年度収支決算報告承認の件、及び監査の報告」がそれぞれ審議・承認され、3号議案「平成24年度役員選任の件」では、現理事及び監事の2年間の任期が満了となり、定款に基づき理事及び監事の選任を行った結果、一般社団法人移行登記後の再任理事7名、再任監事2名と新任理事として、安藤仁様、小清水勝様、吉田篤司様の3名の選任が全員一致で承認されました。通常総会はここで一時休会し、この間に、会長、副会長、専務理事、常務理事を互選により決定する為、選任された理事による臨時理事会が別室で開催されました。

15分の休会后、総会が再開され、臨時理事会の結果が袴運営委員長より報告され、続いて会長の再任の挨拶がありました。

4号議案「平成24年度事業計画(案)審議決定の件」、5号議案「平成24年度収支予算(案)審議承認の件」、6号議案「公益法人制度改革対応について」がそれぞれ審議、承認され、岩崎専務理事より製品安全・環境委員会委員長・副委員長の交代について報告があり、最後に議長より議事進行についての協力を謝し、第1回通常総会は終了しました。

続いて午後6時から「通常総会懇親会」が開催され、主催者岡部会長の挨拶の後、ご来賓の経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課 課長補佐 望月孝洋様、文化庁長官官房著作権課著作物流通推進室長 山中弘美様からのご挨拶に続いて、一般社団法人日本音楽著作権協会常務理事 渡辺誠様の乾杯のご発声により、賑やかに懇親会が始まりました。会はその後も盛り上がりましたが、和田副会長の中締めの後、午後8時過ぎ散会いたしました。



岡部比呂男 会長



経済産業省商務情報政策局
文化情報関連産業課 課長補佐
望月孝洋様



文化庁長官官房著作権課
著作物流通推進室 室長
山中弘美様



一般社団法人日本音楽著作
権協会常務理事
渡辺誠様



和田康孝 副会長

一般社団法人音楽電子事業協会 第1回通常総会報告

新会長挨拶

岡部 比呂男 会長

ヤマハ株式会社 取締役 常務執行役員



去る5月10日に開催された一般社団法人音楽電子事業協会の第1回通常総会での選任を経て、引き続き会長を務めることとなりました。この紙面をお借りして、会員の皆様、そして経済産業省はじめ平素より当協会をご支援下さっている皆様方に厚く御礼申し上げます。

AMEIは、2年以上にわたる準備期間を経て、本年4月1日をもって一般社団法人に移行したわけですが、改めて、当協会の「製品安全・環境に関する事業」、「MIDI規格事業」、「MIDI検定事業」の3事業を公益目的事業と定義し、それらの事業を中心に一般顧客や社会にとって有益な活動を展開して参ります。MIDIの公益性という意味では、現在、MIDI規格委員会を中心に取り組んでいる「MIDI規格の国際標準化」が極めて重要と考えております。MIDIは楽器演奏や音楽制作・伝送に欠かせないデファクト・スタンダードとして世界中で広く認められていますが、将来にわたってリスクを回避し、ユーザーのメリットをより確実なものとするためには、MIDI30周年の今のタイミングで、MMAとの連携のもとで規格の国際標準化を目指す意義は大きいと思われます。

一方、音楽著作権や商標については、インターネット環境の急速な進化や、それによって明らかとなった国ごとの習慣・ルールの違いなどによって、従来の枠組みでは対応しきれない新たな問題が次々に起こっています。AMEIと致しましては、そうした問題にスピーディーに対応すべく、監督官庁や関係団体との連絡・協議を密にして、会員企業に共通の事業基盤をより強固なものにできるよう、「公益性」を十分に意識した活動を展開して参りたいと考えます。それによって、業界全体の発展と併せ、各会員企業がそれぞれに顧客満足と事業成長を実現できることが重要と認識しております。

昨年は、東日本大震災と福島第一原発事故によって、日本中がこれまで経験したことのない大きな打撃を受けた年でした。被災地の皆様にとっては、復興への確かな道筋すら未だ見いだせていない厳しい状況とお察しします。その様な状況のもとで我々が生業とする音楽が果たせる役割は限られていると思いつつも、一方で、微力ながら、音楽が復興に向けて役に立てる場面はまだまだ数多くあるというのも同時に感じているところです。我々がそのような業界に身を置いているということは、その意味で有難いことですし、精一杯の事業活動を行なうことが社会貢献につながっていくと信じております。

今後とも、AMEIの諸活動に対して変わらぬご支援・ご協力を、よろしくお願い致します。

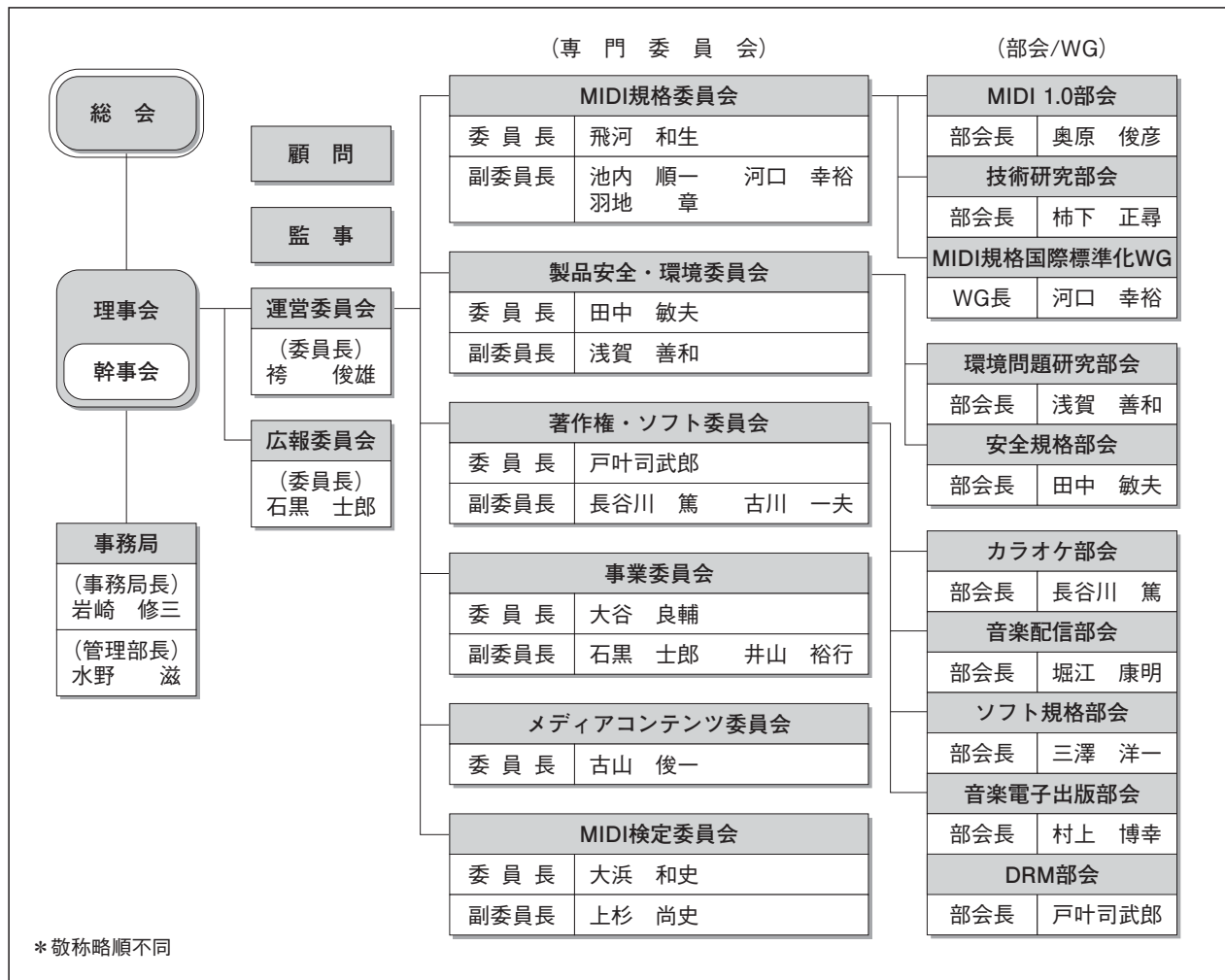
最後になりましたが、会員各位の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

一般社団法人 音楽電子事業協会 平成24年度役員名簿

理事会役職	氏名	会社名	所属部署名
会 長	岡部比呂男	ヤマハ株式会社	取締役 常務執行役員
副 会 長	近藤 公孝	ローランド株式会社	常務取締役
〃	佐々木隆一	株式会社エムティーアイ	取締役
〃	和田 康孝	株式会社第一興商	常務取締役 兼 上席執行役員
専務理事	岩崎 修三	一般社団法人 音楽電子事業協会	専務理事
常務理事	加藤 世紀	株式会社コルグ	代表取締役社長
〃	袴 俊雄	JVCネットワークス株式会社	顧問
理 事	安藤 仁	カシオ計算機株式会社	コンシューマ事業部 第四開発部 部長
〃	小清水 勝	株式会社フェイス	取締役
〃	吉田 篤司	株式会社エクシング	代表取締役社長
監 事	大内 和衛	株式会社キューブ	代表取締役
〃	三木 康司	株式会社シーミュージック	代表取締役
幹 事	赤松 憲樹	学校法人 尚美学園	顧問
〃	大浜 和史	日本シンセサイザー・プログラマー協会	代表理事
〃	小林 献一	Apple Japan 合同会社	政務部部長
〃	小林 宏	株式会社ドワンゴ	代表取締役社長
〃	佐藤 慎吾	株式会社サミーネットワークス	取締役
〃	島村 元紹	島村楽器株式会社	代表取締役社長
〃	鈴木 周司	株式会社鈴木楽器製作所	専務取締役
〃	谷口 恵治	株式会社ヤマハミュージックメディア	代表取締役社長
〃	英 裕治	ティアック株式会社	代表取締役社長
〃	飛河 和生	クリムゾンテクノロジー株式会社	代表取締役
〃	三浦日出樹	株式会社サイバード	取締役
〃	村上 二郎	株式会社河合楽器製作所	取締役 上席執行役員 電子楽器事業部長
〃	村上 昇	株式会社インターネット	代表取締役
顧 問	梯 郁太郎		
〃	加藤 博万		
〃	日吉 昭夫		

* 敬称略・50 音順

一般社団法人 音楽電子事業協会 平成24年度組織図



MIDI規格誕生30周年ロゴ投票結果報告

MIDI30周年ロゴについて、多くの投票を頂きありがとうございます。

AMEInews47号にてお願いしました投票の結果、MIDI規格誕生30周年ロゴは、以下に決定いたしました。1年間ホームページ等で使用させていただきます。

投票及びコメントいただきました皆様、誠にありがとうございました。



コメント：シンプルでよい・見やすい



コメント：見飽きない・未来的



コメント：ライト感覚・モノトーンでも使える



コメント：ト音記号が音楽をイメージしやすい

平成24年度事業計画

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

1 全体

運営委員会に設置した公益法人制度改革対応WGは、平成24年4月1日一般社団法人へ移行後も引き続き公益目的財産額が零になるまで協会運営について継続する。尚、以下各委員会活動は、定款（事業）第4条の各項に準ずるものとする。

2 製品安全・環境委員会

<活動方針>

2つの専門部会（安全規格部会及び環境問題研究部会）での情報交換、法規制からの要求事項に対する解釈のレベル合わせの為の活動を継続し、電子電気楽器及び関連機器の安全性確保・環境問題への対応推進を図る。

<事業計画>

「安全規格部会」 6月浜松、9月東京、11月浜松、1月東京、3月浜松 計5回 原則 第3木曜日開催
「環境研究部会」 4月浜松、6月東京、9月浜松、11月東京、1月浜松 計5回 原則 第3火曜日開催を予定

●活動テーマ（情報交換の対象など）

「安全規格部会」

安全規格

- ・電気用品安全法の動向調査
- ・北米規格の動向調査
- ・欧州規格の動向調査
- ・中国、韓国、台湾、その他各国の動向調査
- ・技術向上 IEC 62368-1の外部試験所依頼による製品評価

EMC

- ・各国規制動向調査
- ・韓国EMC規制動向調査
- ・CISPRマルチメディア国際規格策定への参画

その他

- ・各国の省エネルギー規制の動向調査
- ・PL関連情報の提供と交換
- ・各国電波法・無線規制の動向調査

参加外部団体

- ・電波雑音部会
- ・電気用品調査委員会
- ・JEITA マルチメディアEMC専門委員会 WG2
- ・JBMA 第108委員会
- ・電気製品認証協議会

「環境研究部会」

- ・資源有効利用促進法関連
- ・容器包装リサイクル法関連
- ・省エネ法関連
- ・欧州WEEE、RoHS関連
- ・欧州REACH、EuP関連
- ・中国法規制関連
- ・韓国法規制関連
- ・米国の法規制関連

法・規制対応に関する意見交換等の実施

各社の法・規制対応に関する意見交換会の実施

環境法規制に関する情報共有化セミナーの実施

予定：改正RoHS指令施行対応について

3 MIDI規格委員会

<活動方針>

全世界に普及し、互換性を持つMIDIのユーザメリット

を維持し、多分野にわたるMIDIのハード・ソフト・コンテンツ市場の保護・育成を図る。

新しい市場に向けたテーマの推進と将来の音楽事業発展に貢献する。

<事業計画>

- ・IECにおけるMIDI国際標準化の推進
- ・HDプロトコルMMA案のAMEI対応と互換性実験
- ・トレードマークWGによるMIDI商標保護と活用の検討
- ・新規RP提案並びに検討
- ・スマートフォンなどの新市場におけるMIDIの技術調査と互換性の維持

「MIDI1.0部会」

RP・C/Aの提案を受けて、年間1～4回の部会開催を予定。

MMAで提案されているTSB #202 Updated MIDI Electrical Specificationの審議（推奨回路の3.3V対応、電波障害対策部品の追加等）

「技術研究部会」

音楽や電子楽器に関する技術検討を行い、現状の問題の解決及び新技術開発による将来の音楽事業発展に貢献する。部会は隔月で開催し、Eメールによる事前検討を重視する。

- ・HDプロトコルに関する技術リサーチ
- ・新技術/新商品の評価、検討を通して音楽業界のニーズを模索する。
- ・USB、AVB、TCP/IP、ワイヤレス等、5pinDIN以外の伝送路におけるMIDIの評価、検討。

「MIDI規格国際標準化WG」

新興諸国を含む世界各国が国家規格の整備や国際標準規格へのコミットメントを強める中、MIDI関連ビジネスの障害となり得るリスクの未然の排除を目的とし、MMAとの国際的連携のもとMIDI規格の国際標準化を推進する。

- ・2012年3月までに：IEC/TC100に対しMMAを窓口に標準化申請。
- ・2012年5月：IEC/TC100/AGM（Advisory Group on Management）会議で標準化提案。1年程度での標準化を目指す。

「トレードマークWG」

MMAとともにMIDI関連商標の取り下げに向けての交渉継続支援。

中国でのMIDI商標取得の可能性の調査検討

4 著作権・ソフト委員会

<活動方針>

1. 著作権等管理事業法の制定に伴い発生した問題点を解決すべく関係団体と協力し文化庁に対する活動を活発に行う。又、様々な変化の中で新しい問題に対し制度疲弊を起こしていると考えられる部分に対しては、関係省庁、管理事業者等に積極的に発信していく。
2. 定例会を通じ各部会の取り組み課題、管理事業者との協議状況をタイムリーに情報提供、また会員の意見を吸収し部会活動に反映させることにより活発に展開する。

<事業計画>

「カラオケ部会」

1. JASRACと「業務用通信カラオケ」使用料規程改訂その他に関して協議
- 1) 団体の管理権が他団体等に移動した場合の情報の提示を協議

- 2) 被災地支援に関する音楽著作権使用料の免除について協議
- 3) カラオケボックス内のカラオケ及び生演奏時の演奏権の使用料について協議
- 4) カラオケの曲間を使用した情報等の扱いについて協議
- 5) 海外における業務用通信カラオケの権利処理について勉強会
- 6) 民生用カラオケ機器の商用（業務用）利用について勉強会
2. イーライセンス社と「業務用通信カラオケ」規定について協議
3. カラオケ端末機器を使用し新たに作成されたコンテンツの他メディアへの流用に関する権利処理の勉強会（無許諾配信に関する検討）

「音楽配信部会」

1. 音楽配信に関わる問題点の情報交換・意見交換を定例会の場にて実施すると共にNMRCを通じて管理事業者との協議、関連団体との意見交換に反映させる。
2. 実務上の問題点解決に向け、NMRC実務WG及びNMRC拡大実務WGを通じ管理事業者、関連団体との協議、意見交換を行う。
※JASRAC規程改定についての協議にNMRCを通じて、全勢力を傾注する。

「ソフト規格部会」

1. MIDI及び音楽関連ソフトウェア事業に関する情報交換、勉強会の実施。インターネットをはじめとした新しいメディアにおける音楽電子事業の研究。
・動画と共に音楽を利用する際の「シンクロ権」の実態、根拠になる権利の調査研究
・「非営利演奏」の範囲について、その実態に関する情報交換
2. ワーキンググループによる諸問題の討議、検討、規格化と実践
・楽器内蔵コンテンツ等の保護に関する検討WG（GCP-WG）
・その他案件に応じてワーキンググループを設置し、討議、検討
3. その他、規格に関する問題、課題等の検討

「音楽電子出版部会」

1. 音楽電子出版部会の開催 8回
2. NMRCを通じた管理事業者との協議、関連団体との意見交換。
※NMRCのDMN（Digital Music Notation）-WGのAMEI側構成組織として著作権・ソフト委員会/ソフト規格部会から機能を引き継いでいる。
3. セミナーの開催 1回：電子出版に関する専門家を外部講師として招く。

「DRM部会」

1. DRM部会の開催 4回（重要案件発生の場合は、臨時部会を招集する）
・ユーザーの利便性を高める推論エンジンなどにDRMを活用することでCPビジネスの新しい市場が作れるかどうかを検討する。
・コンテンツ許諾コードシステム（IEC国際標準）についても調査検討する。
2. MIDIsignの実証実験
・MIDIsignおよびISMC管理ツールの実用上の問題点をチェックする。
3. 技術WGの設置
・DRMに関する様々な技術の調査と検討のとりまとめを委嘱する。

「その他」

- ・デジタル時代の著作権協議会（CCD）への参画
- ・早稲田大学創造理工学部との連携講座を平成24年度も実施する。

平成24年度AMEI著作権・ソフト委員会定例会開催スケジュール

第 回	開催予定日（案）	開催時間	備 考
1	平成24年04月12日	13:30～15:00	
2	平成24年05月17日	13:30～15:00	
3	平成24年06月14日	13:30～15:00	
4	平成24年07月12日	13:30～15:00	
5	平成24年09月13日	13:30～15:00	
6	平成24年10月11日	13:30～15:00	
7	平成24年11月08日	13:30～15:00	
8	平成24年12月13日	15:30～17:00	恒例忘年会
9	平成25年02月14日	13:30～15:00	
10	平成25年03月14日	13:30～15:00	

*原則として、毎月第2木曜日とする。

*1月及び8月は原則開催しないが前々月までの活動状況に応じて必要であれば開催する。

*会場は、神保町岩波セミナーラーム。

5 メディアコンテンツ委員会

<活動方針及び事業計画>

事業委員会などと連携しながらMIDI 30周年に関する企画や「小型レコーダー活用セミナー」「音楽制作アプリセミナー」などを企画、実施する。

6 MIDI検定委員会

<活動方針>

音楽制作の普及、ミュージッククリエイターの育成を目指した新学習内容実施。MIDIと共にオーディオを含む現代の音楽制作知識、技能を新たな教育プログラムとする。

新ガイドブック「ミュージッククリエイターハンドブック」検定1級、2級、3級対応。新ガイドブックの改訂内容に合わせ各試験問題の内容を改訂する。

<事業計画>

第15回MIDI検定3級試験、第14回MIDI検定2級筆記試験 12月2日実施

第14回MIDI検定2級2次試験 1月実施、第4回MIDI検定1級試験 8月実施

MIDI検定各級指導者認定講座を行う。

認定指導者に新ガイドブック内容に合わせたスキルアップ講座を行う。

新ガイドブックを活用したセミナーを展開し学習者、受験者の拡大を図る。

7 事業委員会

<活動方針>

AMEI他委員会・関連部会との連携のもとMIDI 30周年に関する企画などでのイベント実施計画があれば協力を行う。

その他協賛イベントなどを実施の場合も、臨時委員会開催にて検討。

必要であれば協力を行う。

<事業計画>

他委員会／部会が開催するイベントなどへの協力。

8 広報委員会

<活動方針>

外部に対する情報発信機能を充実し、当協会の存在意義を広くアピールすると共に、会員に対する情報提供機能の充実により会員の連帯感を強め、当協会の積極的な活動を側面からサポートする。

<事業計画>

1. 会報『AMEI News』の発行（事務局との連携により推進）

・年3回発行予定（4月、7月、12月）

2. ホームページの充実、MIDI誕生30年の広報検討（事務局との連携により推進）

3. セキュリティ強化対策の検討の実施（事務局との連携により推進）

MIDI規格国際標準化WG報告

著作権・ソフト委員会 委員長 戸叶 司武郎

MIDI規格の国際標準化活動の一環として、2012年5月15日から米国ダラス市Grapevine地区Gaylordコンベンションセンターにて開催されたIEC(International Electrotechnical Commission: 国際電気標準会議)/TC100 Meetingsに参加してきました。

■ MIDI規格国際標準化の進捗状況

MIDI国際標準化ワーキンググループでは、MIDI規格のコア部分を国際デジタリ標準規格とすべく経済産業省の支援も受けながらMMAとともに活動しています。今回のダラス会議には、新規提案draftの承認(IEC標準化プロセスの開始承認)申請及び新しく設定された迅速手段適用の承認申請を行う予定でしたが、方針を変更しオブザーバーとして参加しました。提案するdraft制作プロセスにおいてMMAの執行部より、IEC標準となった後の規格内容のメンテナンスに関して何らかの明確な主導権を担保すべきであるとの意見が出されたためです。IEC事務局との管理条項契約締結の可能性についての検討を優先する事となり、draftの承認申請は2012年10月のベルリン会議での提出を目標として、今回はIEC中央事務局のMatei Cocimarov氏にIECとAMEI/MMAのMIDI規格における管理条項契約を締結したい旨を内々に打診しました。まずは契約の内容次第ということで、AMEI/MMAが契約書の原案と規格内容管理における懸念点の箇条書きを作成し事務局に提出することとなりました。現在はMMA並びに国際標準化に詳しい米国人弁護士と、AMEIとで契約書原案を作成中です。

■ TC100-AGS/AGMミーティングの概要と参加目的

今回は毎年秋に開催されるIEC総会とは異なり、TC100(Technical Committee 100: Audio, video and multimedia systems and equipment)の中心メンバーだけの諮問グループ会議です。開催ホスト団体であるCEA(The Consumer Electronics Association)が主催する自団体の会議に、TC100 meetingが相乗り開催した形になっていました。CEAは14日から、TC100は15日から19日までの会議でしたが、15日のAGS(Advisory Group on Strategy)、16日のAGM(Advisory Group on Management)会議にTom White MMA会長と戸叶の2名が発言・議決権のないオブザーバーとして出席し、CEAのプレゼンを聞きながらの昼食会や夕食を兼ねたレセプションにも参加してきました。AGM会議においては、AMEIとして特に報告は行いませんでしたが、事務局や参加者と積極的に会話し情報収集をしてきました。

■ MIDI規格国際標準化に向けての調査・検討

標準規格を長年管理していくと、様々な派生規格が生まれてきます。IECに提案するdraftはMIDI規格1.0のコア部分であり、規格の派生追加が将来のどこかで生じる際に、既存のRPやCAとの整合性をとる必要があります。その為にIECとAMEI/MMAが相互連携してMIDI派生規格を管理する手法を取り決めておく文書(仮称「管理条項契約」)を交わしておくべきと考えています。契約骨子と内容の吟味をTom White氏を中心となって進めていますが、今回のダラス会議でUSB-IF(USB-Implementers Forum)のJeff Ravencraft氏からたくさんのアドバイスを戴きました。欧州の地域標準機関CEN、CENELECでモバイル機器の充電端子としてマイクロUSB端子が標準化された事を受け、フォーラム規格であったUSBを国際デジタリ標準化する必要ありとの契機から、TA14でUSBのIEC標準化が進んでいますが、Ravencraft氏はその中心人物です。また、TC100日本人幹部関係者(ソニー成井氏、東芝伊賀氏)には今回も多大なご協力を賜りました。この場を借りて関係各位には厚く御礼申し上げます。

■ 考察と所感

MIDI規格の国際デジタリ化は喫緊の課題であり、IECの迅速手段適用を獲得して一日でも早く標準化プロセスに載せたいのですが、将来の不安要素は摘み取っておかねばなりません。AMEI/MMAとエンドユーザーにとってメリットのある国際標準規格を制定することが本来の目標ですので、秋に向けて慎重かつスピード感を持って進めていきたいと思います。今回はCEAのメンバーとも交流し、Wireless Powerの標準化など常に新しい規格とビジネスが進んでいることを実感しました。ただ、ダラスもGrapevine地区も会議場もとにかくだだっ広くてテキサスの大さに

圧倒されました。引き続きAMEI会員各位のご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



Gaylord Texan遠景: 左がConvention Center、右がHotel。広大な敷地に立つ、どちらも超巨大な施設



Gaylord Texan Convention Center: 各フロアがサッカーコート2面程度の広さで、大小様々な会議室が用意されている。



IEC/TC100/AGS会議風景: 各国代表(National Body)とTC100幹部、事務局による標準化テーマの戦略会議。



ランチセッション: 開催ホスト団体であるCEAの招待を受け、プレゼンを聞きながら昼食と情報交換。



AGS会議にて: USB-IF Vice-President Mr. Jeff Ravencraft(左)・戸叶 MIDI国際標準化WG委員(中央)・Tom White MMA会長(右)。

平成24年度MIDI検定試験について

MIDI検定委員会

MIDI 検定がスタートしてから10 年以上が経過し、この間の著しい技術進歩により音楽制作の現場におきましては、MIDI に加えAudio の知識が必須の状況となっています。またMIDI検定受験者やMIDI検定認定指導者の皆様からも様々なご意見等を頂き、MIDI 検定委員会では、今後のMIDI 検定の目的を、新に「ミュージッククリエイターの育成」と捉え試験の内容等について検討を重ねた結果、平成24 年度よりガイドブックを改定すると共に試験内容についても、以下のように変更する事といたしました。

■ MIDI検定1級試験について

MIDI検定1級については、課題曲スコア（楽譜）、および制作規定書を参照し、自宅など任意の環境で作品を制作して成果物を提出していただく等の内容については変更はありませんが、実施時期を1月から8月に変更いたします。従来の1月下旬での制作期間10日間（課題曲スコアの到着から完成データ一式の送付まで）では、十分に時間が取れない等の理由から途中棄権される方もあり、比較的時間の取り易い夏休み期間での実施とする事といたしました。

■ MIDI検定2級2次試験について

MIDI検定2級2次試験についてはまだ検討段階ですが、会場での筆記試験に加え、その場で配布される課題について自宅など任意の環境で制作を行っていただく等、1級に近い試験形態を検討しております。尚試験の実施は2013年2月を予定しております。

■ MIDI検定3級・2級1次(筆記) 試験について

MIDI検定3級・2級1次(筆記) 試験は12月2日(第1日曜日)に全国一斉での実施を予定していますが、「ミュージッククリエイターの育成」を目標として、MIDIの知識に加え、3級では実際の音楽制作現場で必要とされるコンピュータやDAWの知識・楽典やデジタルオーディオに関する知識を、2級1次ではシンセサイザーやエフェクトに関する知識・オーディオプロダクションに関する知識や著作権に関する知識等を網羅し、平成24年2月にリリースした公式ガイドブック「ミュージック

クリエイター ハンドブック」の中から出題する事といたしました。

■ MIDI検定4級試験について

MIDI検定4級試験については従来と同様に、ミュージックメディア入門を公式ガイドブックとして、「コンピュータで音楽を楽しむ」をコンセプトとして、より身近なデジタルミュージックの楽しみ方の提案、USBを始め周辺機器との接続方法、DAWと呼ばれるようになったオーディオを含む音楽制作環境について、MIDIの知識、音の知識と共に、AMEI認定の指導者より受講していただき、4級講座（セミナー）終了後に認定試験を受けていただきます。

MIDI規格が誕生してから30年が経過し、電子記譜情報としてのMIDIの価値はコンピュータミュージックの進化の過程で淘汰される事なく、世界標準としての地位を確立してきました。が、ネットワーク環境は大きく変化し、大容量データの高速での送受信が可能となり、音楽制作においてもDAWが主流となった現在では、MIDIデータをそのまま扱う事なく音楽制作ができる等今までのようにMIDI規格を学ぶ事なく音楽制作という目的が達成できるようになってきた事は、大きな進化だと認識しております。

その為、MIDI検定の価値についても、MIDIを広く一般に普及するという第1段階から、ミュージッククリエイターの育成という次の目標へ、現在のコンピュータによる音楽制作の工程全体を網羅した学習内容へと移行するべく検討を行ってまいります。

新宿電子楽器祭

日本シンセサイザー・プログラマー協会が開催するSynthesizer Festaが、今年は名称も新たに「新宿電子楽器祭」として下記要領にて開催が決定いたしました。電子楽器と音楽を楽しみ、創る全ての人の祭典との位置づけの元に「音楽を見る（展示） 聴く（ライブ） 学ぶ（セミナー） 遊ぶ（ゲーム）」をコンセプトに1日滞在型のイベントとして音楽家、クリエイター、音楽愛好家が交流する2日間のイベントを目指しています。

■ 新宿電子楽器祭概要

開催日程：10月6日（土）11：00～19：00
10月7日（日）11：00～18：00

会場：芸能花伝舎 創造スペース

主催：日本シンセサイザー・プログラマー協会

後援：公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会（芸団協）、新宿区
イベント内容は、今後具体的な企画に入る段階ですが、当協会としましては、MDI30周年、MIDI検定等の訴求の場として事業委員会、メディアコンテンツ委員会、MIDI検定委員会の3委員会合同で本イベントに協力をしていく予定ですので、よろしくお願い致します。

CDC社員総会報告

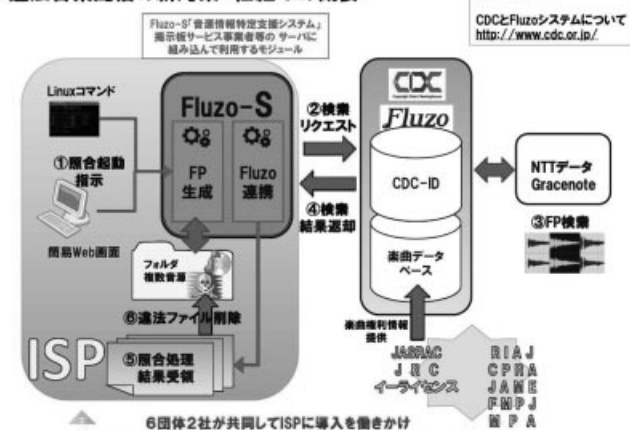
一般社団法人 著作権情報集中処理機構 Copyright Data Clearinghouse (CDC)

6月12日に一般社団法人著作権情報集中処理機構（CDC）の社員総会が開催されました。

第4期（平成23年4月1日～平成24年3月29日）は、管理楽曲の統合データベースの蓄積データ数（CDC_ID付与件数）は4,321,568件（1年間で502,624件増）フィンガープリント（FP）検索第4期総検索数1,202,705利用曲目報告データ数2012年1月入力件数94,815,838（2011年10月90,404,165）出力件数110,599,726（2011年10月105,325,790）と、着実に利用実績を拡大しています。2011年10月にはFluzoの第三次バージョンアップを実施、FP検索機能及びメタデータ検索機能等に係る機能を増強しました。また、FluzoのFP検索機能をサーバから利用できるモジュールを搭載した「Fluzo-S」（音源情報特定支援システム）を新たに開発し、同年11月より提供を開始しました。これによりFluzoのFP検索機能及びデータベースを配信事業者のファイルフィルタリングやブロッッキングに活用することができるようになりました。

以上の事業報告の後、決算報告の承認及び今期は理事の改選期にあたることから理事2名の選任決議が行われ佐々木隆一氏、菅原瑞夫氏の2名が引き続き理事として承認されました。

違法音楽配信の新対策 仕組みの概要



東日本大震災、並びに福島第一原子力発電所事故により
被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。
被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

会員名簿

50音順 2012年7月10日現在

あ

- Apple Japan合同会社

い

- 株式会社インターネット
- インフォコム株式会社

え

- 株式会社エクシング
- 株式会社エムティーアイ

お

- 株式会社音響総合研究所

か

- カシオ計算機株式会社
- 株式会社河合楽器製作所

き

- 株式会社キューブ

く

- クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
- クリムゾンテクノロジー株式会社

こ

- 株式会社コルグ

さ

- 株式会社サイバード
- 株式会社サミーネットワークス

し

- 株式会社シーミュージック
- JVCネットワークス株式会社

- 島村楽器株式会社

- 学校法人尚美学園

- 株式会社シンクパワー

す

- 株式会社ズーム
- 株式会社鈴木楽器製作所

- 株式会社スリック

せ

- セイコーインスツル株式会社

- 株式会社セガ

た

- 株式会社第一興商
- 株式会社タムラ製作所

て

- ティアック株式会社
- 株式会社ディーアンドエムホールディングス

と

- 東映ビデオ株式会社
- 株式会社トワゴ

に

- 学校法人片柳学園 日本工学院専門学校・
日本工学院八王子専門学校

- 日本シンセサイザープログラマー協会

は

- パイオニア株式会社
- パナソニック モバイル コミュニケーションズ株式会社

ふ

- 株式会社フェイス
- 株式会社フェイス・ワンダワークス
- 株式会社フットレック

へ

- ベスタクス株式会社

み

- ミュージックノート株式会社

や

- ヤマハ株式会社
- 一般財団法人ヤマハ音楽振興会
- 株式会社ヤマハミュージックメディア

ら

- 株式会社ラグナヒルズ

り

- 株式会社リットーミュージック
- 株式会社リムショット

ろ

- ローランド株式会社
- 〈正会員会社46社〉

*賛助会員

- 中音公司（中華人民共和国）
- 株式会社博秀工藝
- 株式会社ミュージックトレード社
- 〈賛助会員会社3社〉

MIDI LICENSE

平成24年度

「MIDI検定」第4回

● ミュージッククリエイターのための認定制度

MIDI検定1級試験

【試験期間】2012-8/10(金)～8/20(月)

※平成24年度よりMIDI検定1級試験は8月（年1回）実施に変更致します。

申し込み 2012-7/5(木)～7/31(火)




一般社団法人音楽電子事業協会 第1回通常総会議事録の開示について

AMEIホームページ <http://www.amei.or.jp/> の会員専用ページ

- 会員専用ページへのアクセスはID及びパスワードの入力が必要です。お忘れの方はE-mailにて
- 送付先：webmaster@amei.or.jp
 - メールSubject（件名）に AMEI member HP registration（半角文字）と記入の上、本文にお名前、E-mailアドレス、会社名、所属、TEL、FAXを記入の上、お申込み下さい。

下記のAMEI
ホームページで
ご覧いただけます。

AMEI NEWS Vol.48 / 2012.7.12
一般社団法人音楽電子事業協会 機関誌
発行：一般社団法人音楽電子事業協会 事務局
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-16-9 イトービル4F
TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549
発行人：岩崎修三
編集人：石黒士郎（広報委員会）
編集協力：株式会社 博秀工藝
ホームページアドレス：<http://www.amei.or.jp/>